

第28回 全道ユース(U-15)フットサル大会

道東ブロック予選 開催要項

1. 主 旨 日本フットサル界の将来を担うジュニアユース年代のフットサル技術の向上と健全な心身の育成を図ると共に、第28回全道ユース(U-15)フットサル大会の道東ブロック代表として出場するチームを決定する。
2. 名 称 第28回 全日本ユース(U-15)フットサル大会道東ブロック予選
3. 主 催 公益財団法人北海道サッカー協会、一般社団法人北海道フットサル連盟
4. 主 管 一般社団法人十勝地区サッカー協会、釧路地区サッカー協会、網走地区サッカー協会、根室地区サッカー協会
5. 後 援 北海道教育委員会、公益財団法人北海道体育協会、帯広市教育委員会、帯広市体育連盟
6. 期 日 2016年11月12日(土)～2016年11月13日(日)
7. 会 場 帯広市総合体育館
帯広市大通北1丁目 TEL:0155-22-7828
8. 参加資格
 - (1) フットサルチームの場合
 - ① 公益財団法人日本サッカー協会に「フットサル3種」、または「フットサル4種」の種別で加盟登録した単独のチームであること。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。本協会に承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。
 - ② 前項のチームに所属する2001年4月2日以降に生まれた選手であること。男女の性別は問わない。
 - ③ 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。
 - (2) サッカーチーム場合
 - ① 公益財団法人日本サッカー協会に「3種」、「4種」、または「女子」の種別で加盟登録した単独のチームであること。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。本協会に承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。
 - ② 前項のチームに所属する2001年4月2日以降に生まれた選手であること。男女の性別は問わない。
 - ③ 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。
 - (3) 本大会の地区予選を通して、選手は、他のチームで参加していないこと。所属するチームが複数のチームで参加する場合、またはサッカーチームとフットサルチームの両方に所属し、両方のチームが参加する場合を含む。
 - (4) 選手および役員は、本大会において複数のチームで参加できない。
 - (5) 本大会の地区予選を経て、所轄の地区協会が認めたチームであること。
 - (6) 下記本大会フットサル登録料を所属地区サッカー協会において納入完了していること。
 - ① フットサルチームの場合 : 登録料 2,000円
 - ② サッカーチームの場合 : 登録料 4,000円
9. 参加チームとその数 参加チームは、次により選出された16チームとする。
前年度地区予選参加チーム数による比例配分で各地区出場枠を決定する。
 - ・釧路地区:3チーム
 - ・十勝地区:6チーム
 - ・根室地区:2チーム
 - ・網走地区:5チーム
10. 大会形式 (1) 1グループ4チームとして、4グループで1次ラウンド(総当り戦)を行う。

- (2) 決勝ラウンドは、1次ラウンド各グループ1・2位の計8チームを、1グループ4チームの2グループに分け、総当たり戦で行う。
- (3) 決勝ラウンドの組み合わせは抽選とし、1次ラウンドの同一グループ以外の1位と2位が対戦するよう配慮する。
- (4) 全道大会への出場は、決勝ラウンドの1・2位チーム計4チームとする。また、出場順位は、決勝ラウンドの成績で決定する。ただし、すべて同率の場合は抽選で決定する。
- (5) 試合が一方のチームの責に帰すべき事由により開催不能または中止になった場合には、その帰責事由のあるチームは0対5または、その時点のスコアがそれ以上であればそのスコアで敗戦したものとみなす。
- (6) 1次及び決勝ラウンドの順位決定方法は、勝点合計の多いチームを上位とし、順位を決定する。勝点は、勝ち3、引分け1、負け0とする。ただし、勝点合計が同じ場合は、以下の順序により決定する。
 - ① 当該チーム内の対戦成績
 - ② 当該チーム内の得失点差
 - ③ 当該チーム内の総得点数
 - ④ グループ内の総得失点差
 - ⑤ グループ内の総得点数
 - ⑥ PK方式(1チーム3名による3本ずつのキックで行う。決しないときは一方のチームが他方より多く得点をあげるまで行う。)により決定する。

11. 競技規則

12. 競技会規定

大会実施年度の(公財)日本サッカー協会フットサル競技規則による。

以下の項目については、本大会で規定する。

- (1) ピッチサイズは、36m×18mとする。
- (2) 使用球は、フットサル用4号ボールとする。
- (3) 交代要員の数は、7名以内とする。
- (4) ベンチに入ることのできる人数は10名以内(交代要員7名、役員3名以内)とする。
- (5) ユニフォーム
 - ① フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム(シャツ、ショーツ、ストッキング)を参加申込書に記載し、各試合には正副ともに必ず携帯すること。
 - ② チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものであること。
 - ③ フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩および同一のデザインで、かつ自分自身の背番号のついたものを着用すること。
 - ④ シャツの前面、背面に参加申込書に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。
 - ⑤ 選手番号については1から99までの整数とし、0は認めない。1番はゴールキーパーが付けることとする。必ず、本大会の参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。
 - ⑥ ユニフォームへの広告表示については、(公財)日本サッカー協会の承認を受けている場合のみこれを認める。ただし、ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲出料等の経費は当該チームにて負担することとする。
 - ⑦ その他、ユニフォームに関する事項については、(公財)日本サッカー協会のユニフォーム規程(2016年4月1日施行)に則る。ただし、今回の規程で追加・変更となった内容のうち、以下は2019年3月31日まで旧規程による運用を許容する。

第5条[ユニフォームへの表示]※該当のみ抜粋

- ・GK グローブ・キャップへのチーム識別標章・選手番号・選手名の表示
- ・両肩・両脇・両袖口・両腰脇・両裾に表示できる製造メーカーロゴマークの幅

(10cm から 8cm に変更)

・同一の製造メーカーロゴを帯状に配置する場合のロゴマーク間の距離

- (6) 靴
キャンバス、または柔らかい皮革製で、靴底がゴム、または類似の材質で出来ており、接地面が紺色、白色、もしくは無色透明のフットサルシューズ、トレーニングシューズ、または体育館用シューズタイプのもの。(スパイクシューズおよび靴底が着色されたものは使用できない。)
- (7) ビブス
交代要員は、競技者と異なる色のビブスを用意し、着用しなければならない。
- (8) 試合時間は、1 次ラウンド(総当り戦)20 分間(前後半各 10 分間)、決勝ラウンドは 30 分間(前後半各 15 分間)のランニングタイムとする。また、ハーフタイムのインターバルは、1 次ラウンド 5 分間、決勝ラウンド7分間とする。(前半終了から後半開始前まで)
- (9) 競技時間内で勝者が決しない場合は、1次及び決勝ラウンドとも引分けとする。
- (10) タイムアウトは、適用しない。
13. 懲 罰
- (1) 本大会の地区予選は、懲罰規程上の同一競技会とみなし、予選終了時点で未消化の出場停止処分は、本大会の試合にて順次消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。
- (2) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。
- (3) 本大会期間中に警告の累積が2回に及んだ選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。
- (4) 前項により出場停止処分を受けたとき、1次ラウンド終了時点で警告の累積が1回するとき、または、本大会の終了のときに、警告の累積は消滅する。
- (5) 本大会終了時点で未消化となる出場停止処分は、当該チームが出場する直近のフットサル公式試合(ただし、第28回全道ユース(U-15)フットサル大会に出場するチームはこの大会で行うこと。)にて消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。
- (6) その他、本大会の懲罰に関する事項については、本大会の大会規律委員会が決定する。

14. 参加料等

参加料 21,600 円(消費税込)、審判不帯同料 16,200 円(消費税込)

15. 参加申込

- (1) 参加申込書に記載し得る人員は、選手 20 名・役員 4 名とする。
- (2) 参加申込は所定の申込書(Excel)に必要事項を記入し、期日までに所属地区サッカー協会を通じて申し込み先(B)宛てに E-mail で送付すること。
※チームは事前に所属地区協会の申込みアドレスを確認すること。
- (3) 参加料 21,600 円(消費税込)は申込と同時に申込先(B)へ納入すること。
- (4) 親権者の承認印のある親権者同意書を(A)に送付すること。なお、2016 年度中に提出済みの場合は不要。
- (5) 申込締切日 2016 年 11 月 7 日(月) 17 時まで 厳守
- (6) 前項の申込締切日以降の参加申込内容の変更は認めない。
- (7) 申込先 (A) (公財)北海道サッカー協会
〒062-0912 札幌市豊平区水車町 5 丁目 5-41
北海道フットボールセンター 内
TEL 011-825-1100 FAX 011-825-1101
・親権者同意書(郵送)
- (B) (一社)十勝地区サッカー協会
〒080-0018 帯広市西 8 条南 18 丁目 3-3 大西ビル 2F
TEL:0155-21-6626 FAX:0155-24-7881
E-mail:tfa@tokachifa.com
参加料等振込口座(振込用紙に必ずチーム名、監督名を記載すること)

- ・銀行名:帯広信用金庫中央支店
- ・口座番号:普通口座 1213922
- ・口座名:(一社)十勝地区サッカー協会第3種委員会
- ・参加申込書(E-mail)
(選手登録番号を必ず記載のこと) 送付先B
- ・プライバシーポリシー同意書(E-mail) 送付先B
- ・親権者同意書(親権者捺印の上郵送)なお、送付先A
2016年度中に提出済みの場合は不要。

16. 組合せ 組み合わせは、主管地区サッカー協会において抽選し決定する。なお、組み合わせ結果は、主管地区協会より各地区協会と参加チームにE-mailにて連絡する。
17. 帯同審判 (1) 参加地区サッカー協会は、3級以上の公認フットサル審判員を1チームにつき1名帯同させること。その氏名・級を参加申込書に記入すること。
(2) 帯同審判員は、2日目までその業務に当たるものとする。
(3) 帯同審判員は、役員(監督は除く)と兼ねることはできる。
(4) 審判員を帯同出来ない時には、不帯同審判料 16,200 円(消費税込)を(一社)十勝地区サッカー協会に納入すること。
18. 監督会議 (1) 日 時 : 2016年11月12日(土) 8時15分から
(2) 会 場 : 帯広市総合体育館 1階 会議室
19. 開会式 監督会議と兼ねる
20. 閉会式 実施しない。
21. 負傷及び事故の責任 (1) 大会期間中の負傷及び事故の責任は、当該チームが負うものとする。なお、医師及び救急用具の準備は各チームの責任において行うこととする。
(2) 選手はスポーツ保険または、それに準じた保険に加入していること。
22. その他 (1) マッチコーディネーションミーティング
各試合競技開始時間の60分前(ただし、第1試合は試合開始30分前)に、運営スタッフ、両チームの監督及び審判員とマッチコーディネーションミーティングを行う。このミーティングにおいて、両チームのユニフォームの決定、メンバー提出用紙の回収、電子選手証等の確認、諸注意事項の説明等を行う。
(2) 電子選手証等
各チームの登録選手は、(公財)日本サッカー協会発行のフットサル電子登録証の写し(写真が登録されたもの)又は選手証(写真が貼付されたもの)を、監督会議及び試合会場に持参すること。いずれかが確認できない場合は、試合に出場できない。
(3) 選手の資格に関して不都合な行為等があった場合、そのチームの出場を停止する。
(4) 震災等、不測の事態が発生した場合には、本大会運営委員会において協議の上対処する。中断・中止・延期することがあることを留意のこと。
(5) 競技時間中、ウォーミングアップ時間中を問わず、自分のベンチにおいては摂取可能な飲料は「水のみ」に限定する。
(6) 成績上位4チームには、2016年12月3日(土)~4日(日)、北海道立野幌総合運動公園総合体育館で開催される第28回全道ユース(U-15)フットサル大会兼第22回全日本ユース(U-15)フットサル大会北海道予選への参加を義務づける。

以上